

「社会を明るくする運動」

犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ

安中市社会を明るくする運動推進委員会委員長 安中市長 岩井 均

「社会を明るくする運動」は「社明運動」とも呼ばれ、法務省の主唱により本年度で76回目を迎えます。「更生保護の日」である7月1日から1か月間を強調月間とし、市内でも啓発活動を行います。

犯罪や非行のない安全・安心な社会の実現には、犯罪や非行をした人の立ち直りを助け、再犯・再非行を防ぐことが大切です。一人でも多くの市民の皆さんに、活動の趣旨である「犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ」をご理解いただき、この社明運動の推進にご協力とご支援をお願いいたします。

■第76回 “社会を明るくする運動”の「統一テーマ」 保護司をはじめとする更生保護ボランティアを広く知ってもらおう

「更生保護」は、国、地方公共団体、さらには民間が協力し合い、犯罪や非行から立ち直ろうとする人々を支援する取り組みです。とりわけ、更生保護ボランティアは、そのような人々を地域社会で支え、再出発を助けています。日本における更生保護の取り組みは、良好な治安を支えるものとして、海外でも高く評価されています。令和7年12月に国連総会で採択された「再犯防止に関する国連準則」で

も“hogoshi”が紹介されていますが、国内での認知度はまだ十分ではありません。そこで、第76回“社会を明るくする運動”では、本運動のさまざまな取り組みを通じて、更生保護ボランティアの存在や役割を広く地域の皆さんに知っていただくことを統一テーマとして、活動を展開していきます。

■活動状況および予定

- ・第76回“社会を明るくする運動”安中市推進委員会(6月23日)
- ・募金活動の実施(7月1日～9月30日)
- ・社団法人街頭広報活動・パレードなど(7月2日)
- ・薬物乱用防止駅頭キャンペーン(7月10日)
- ・中学校薬物乱用防止教室(6～2月)
- ・小中学生を対象とした“社会を明るくする運動”作文の募集・審査会(7～9月)



■第75回募金結果報告

昨年7月1日～9月30日に実施した募金活動は、市民の皆さんの深いご理解とご協力により、大きな成果をあげることができました。

お預かりした募金は右表のとおり、保護司会、更生保護女性会、協力事業主会、各地域の活動費として配分し、活用しました。ありがとうございました。

募金の用途(令和7年)	金額(円)
14地区支部助成金	633,712
更生3団体活動配分金	530,000
学校対象広報活動費	800,170
一般対象広報活動費 (うちわ・ポスターなど)	215,210
事務費 (用紙代、郵送など)	53,407
次年度繰越金	9,657
合 計	2,242,156

問 安中保護区保護司会更生保護サポート
センター安中(☎329-7100)

協力機関・団体名

安中市・安中市議会・安中市教育委員会・安中市市長会・安中市民生児童委員協議会・安中保護区保護司会・安中地区更生保護女性会・安中地区協力事業主会・安中保護区保護司会更生保護活動支援機構・安中市社会福祉協議会・安中市内関係機関団体など(順不同)

日日程 **時**時間 **期**期間 **場**会場・場所 **対**対象・資格 **内**内容 **定**定員 **¥**料金・費用 **持**持参物 **締**締切
応応募・申込方法 **申**申込み先 **問**問合せ先 **電**電話 **FAX**FAX **e**電子メール **HP**ホームページ **他**その他